

知多市情報活用能力体系表(令和3年度版)

ICT教育を通して身に付ける力	情報活用能力4要素		小学校低学年		小学校中学年		小学校高学年		中学校	
	番号	項目内容	番号		番号		番号		番号	
A 基本的な操作等	1	PC操作	①	・電源のON、OFFをすることができる。 ・パスワードの入力することができる。 ・適切に音量調整することができる。 ・アプリをダウンロードすることができる。 ・全アプリを終了させることができる。 ・自分に合った文字入力の方法を選び、入力することができる。	②	・ローマ字で文字入力ができる。 ・漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字を含む文の入力を行うことができる。 ・ファイルの保存やアプリケーションソフトのダウンロード等の基本的な操作ができる。	③	・キーボードを用いて漢字・かな交じりの文章を1分間で20字程度入力することができる。 ・ファイルの管理や目的に応じたアプリケーションソフトの選択と操作ができる。	④	・日本語以外の表現を含めた文章のタイピングを1分間で40字程度入力することができる。 ・クラウド等を用いて協働作業をすることができる。
	2	Web検索	①	・適した単語を入力して検索をすることができる。	②	・必要な情報を検索することができる。	③	・目的に応じて、必要な情報を検索することができる。	④	・目的に応じて、大量のデータを分類・整理し、必要な条件を絞り込むことができる。
	3	記録と編集	①	・写真撮影や音声の記録をすることができる。 ・写真への編集をすることができる。 ・画像の保存や消去をすることができる。	②	・目的に応じて、写真や動画の撮影、音声の記録をすることができる。	③	・アプリケーションソフトを使って、映像や音声の加工・編集ができる。	④	・目的や情報の種類に応じてアプリケーションを選択、活用できる。
	4	グラフ作成	①	※児童の実態に応じて指導することも考えられる。	②	※児童の実態に応じて指導することも考えられる。	③	・アプリケーションソフトを使って、目的に応じて簡単なグラフを作成することができる。	④	・アプリケーションソフトを使って、集めた情報を適切な表やグラフにまとめることができる。
	5	インタビュー	①	・質問を用意することができる。	②	・目的に合った質問を用意することができる。	③	・下調べをしてインタビューするべき質問を選ぶことができる。	④	・相手が答えやすいように質問の順番を工夫することができる。
	6	資料の作成	①	・プレゼンテーションソフトを使って、簡単なスライドを作成することができる。	②	・プレゼンテーションソフトを使って、表やグラフ、写真を用いたスライドを作成することができる。	③	・プレゼンテーションソフトを使って、表やグラフ、写真や動画などを用い、聞き手を意識したスライドを作成することができる。	④	・プレゼンテーションソフトを使って、アニメーションや配色等を効果的に活用し、聞き手を意識した資料を作成できる。
	7	発表	①	・調べたことを大きな声で分かりやすく発表することができる。	②	・資料を分かりやすく示すなど、工夫して発表することができる。	③	・資料を比較、分類するなど、効果的に示しながら発表することができる。	④	・アウトラインの作成や文字や画像を確認して提示するなど、相手に効果的に伝わることを意識して発表することができる。
	8	図書利用	①	・図書分類を見て、探している本を見つけることができる。	②	・目次や索引を活用して、必要な情報を見つけることができる。	③	・学校図書館や市の図書館の資料を活用して、必要とする情報を入手することができる。	④	・市の図書館のデータベースへのアクセスの仕方を知り、必要とする情報を入手することができる。
B プログラミング	1	順次・分岐・反復	①	・問題解決には手順があることを理解し、プロセスを簡単な図等で表すことができる。	②	・問題を解決するためのプロセスを考えて図等に表し、順次・分岐・反復を選択してプログラムの作成ができる。	③	・問題を解決するためのプロセスを考えて図等に表し、順次・分岐・反復を組み合わせてプログラムを作成することができる。	④	・問題を解決するためのプロセスを複数考慮して図等に表し、評価・改善しながらプログラムを作成することができる。
	2	試行錯誤	①	・うまくいかない時に繰り返し取り組もうとしている。	②	・試作やシミュレーションを通して方向性や改善策を見い出すことができる。	③	・与えられた条件から解決方法を論理的に考えて取り組むことができる。	④	・目的に応じて条件を切り分け、解決方法を論理的に考えて取り組むことができる。
	3	データベース	①	・与えられたデータの大きな傾向を見い出そうとしている。	②	・データの変化や違いを捉えて説明できる。	③	・与えられた表やグラフを用いてデータを統計的に処理することができる。	④	・目的に応じて適切な表やグラフを用いてデータを統計的に処理することができる。
	4	情報の関係づけ	①	・情報と情報の間にある関係に気付くことができる。	②	・情報と情報の関係を図やプログラミングで表現できる。	③	・情報と情報の関係を図やプログラミングを使い分けやすく表現できる。	④	・情報の規則性、順序性、一般性を図やプログラムで表現できる。
	5	情報技術の将来	①	・新しい情報技術がどんなものか知る。	②	・新しい技術にどう関わるか知る。	③	・新しい技術にどう関わるか説明できる。	④	・新しい情報技術が社会や産業にどう活用されているか説明できる。
C 情報モラル・情報セキュリティ	1	モラル・マナー	①	・相手を思いやるモラルやマナーが必要であることを理解することができる。	②	・モラルやマナーの意味を知り、正しい行動を取ることができる。	③	・モラルについて考え、共通したマナーを相手と一緒につくろうとする。	④	・モラルについて考え、マナーを創造・遵守することで問題を解決しようとする。
	2	法と権利(ルール)	①	・人のつくった作品や情報を大切にする。	②	・友達や作品や写真などを利用するときには、許可が必要であることを考えながら、正しく利用する。	③	・著作権や肖像権等の存在を知り、それらに留意して情報を扱う。	④	・著作権・肖像権・知的財産権等の意味を知り、その権利に気を付けながら情報を加工する。
	3	コミュニケーション	①	・相手によって言葉の受け止め方が違うことを理解することができる。	②	・発信する情報に責任をもつことができる。	③	・ネットワークの公共性を意識して、行動することができる。	④	・ネットワークの仕組みを理解し、コミュニケーショントラブルになる原因について考え、対策することができる。
	4	情報セキュリティ	①	・IDとパスワードを安全に管理することができる。	②	・なりすましやウイルスなどの危険を理解することができる。	③	・情報セキュリティの重要性を理解することができる。	④	・情報セキュリティを確保するための方法を理解し、活用することができる。
	5	個人情報の保護	①	・自他の個人情報やむやみに他人に教えるはいけないことが分かる。	②	・個人情報保護の大切さを知り、IDやパスワードの重要性が分かる。	③	・SNS等での情報の送受信に伴い発生する問題について、適切な対応方法が分かる。	④	・自他の情報を相手や範囲を考えて、適切に管理できる。
	6	健康と安全	①	・情報機器の利用が健康に害を与えることを知り、使ってよい場所や時間を守ることができる。	②	・情報機器の節度ある使い方を理解し、使う場所や時間を自分で管理できる。	③	・健康や安全に配慮して情報機器やインターネットを活用することができる。	④	・健康や安全に配慮して情報機器やインターネットを適切に活用することができる。
	7	情報社会の将来	①	・情報社会とは何か知る。	②	・情報社会の特色を理解することができる。	③	・情報社会の中でどう生きていこうか考えることができる。	④	・情報社会の中でどう生きていこうか考え、説明することができる。
D 問題解決・探究における情報活用	1	情報収集・選択	①	・様々なメディアからいろいろな情報を収集できる。	②	・様々なメディアから必要な情報を集めることができる。	③	・メディアの特性を理解して、効果的に活用し、情報を検索・収集することができる。	④	・メディアの特性を理解して、情報の妥当性や信頼性を吟味し、効果的に活用することができる。
	2	情報整理(思考ツール)	①	・簡単な線や図、表やグラフなどを用いて情報を整理できる。	②	・観点を決めた簡易な表やグラフ、思考ツールなどを用いて情報を整理できる。	③	・目的に応じた表やグラフ、思考ツールなどを適切に選択・活用し、情報を整理することができる。	④	・目的や状況に応じて表やグラフ、思考ツールなどを適切に選択・活用し、統計的に情報を整理することができる。
	3	読み取り	①	・一つの資料から、視点をもって情報を読み取ることができる。	②	・一つの資料から、複数の視点をもって情報を読み取ることができる。	③	・一つの資料から複数の視点をもって情報を読み取ったり、二つ以上の資料を関連付けて必要な情報を読み取ったりすることができる。	④	・必要な情報を読み取り、熟考することができる。
	4	創造	①	・他者の意見や考えを共有したり情報交換したりする活動を通じて、自分の意見と他者の意見を比べることができる。	②	・他者の意見や考えを共有・情報交換し、新たな意味や価値を見出すことができる。	③	・他者の意見や考えを共有・情報交換し、帰納的に推論をして伝え合うことができる。	④	・他者の意見や考えを共有・情報交換し、帰納・帰洋・演繹などの推論を行って伝え合うことができる。
	5	表現の工夫	①	・簡単な線や図、表などを読み取り、情報を組み合わせる方法を知る。	②	・自他の情報を組み合わせる表現を知ることができる。	③	・複数の表現手段を組み合わせる表現を知ることができる。	④	・情報を統合して表現を知ることができる。
	6	受け手の意識	①	・相手を意識して伝え方を工夫することができる。	②	・相手の反応を見て、伝え方や内容を工夫することができる。	③	・相手の関心に配慮して、伝え方や内容を工夫することができる。	④	・相手の理解力を把握して、伝え方や内容を工夫することができる。
	7	学習計画	①	・決められた計画に見通しをもつことができる。	②	・自分で計画を立てることができる。	③	・グループ内で役割分担を考慮して計画を立てることができる。	④	・グループメンバーの特性を活かして役割を分担し、計画を立てることができる。
	8	評価と改善	①	・めあてに対する、自分の学びの振り返りができる。	②	・振り返りを基にして、次によつてみたいことを考えることができる。	③	・振り返りを基にして、今の学びの改善策を立てることができる。	④	・振り返りによって自分の学習状況を把握し、個別最適な学びについて考えることができる。

ひとを育み 未来につなぐ知多の教育

熟考する力
協働する力
新たな価値を創造する力